

# ヌキちゃん

はもっと大きな指が欲しい







もっと大きなものが  
が必要です

2本の指を使うだけ  
ではもう十分ではありません。

ハッ、

ヒッ、

ズッ、

ズッ、

キューン

キューン

はー！



はー！

はー！

指3本でも足りない



はー！

はー！

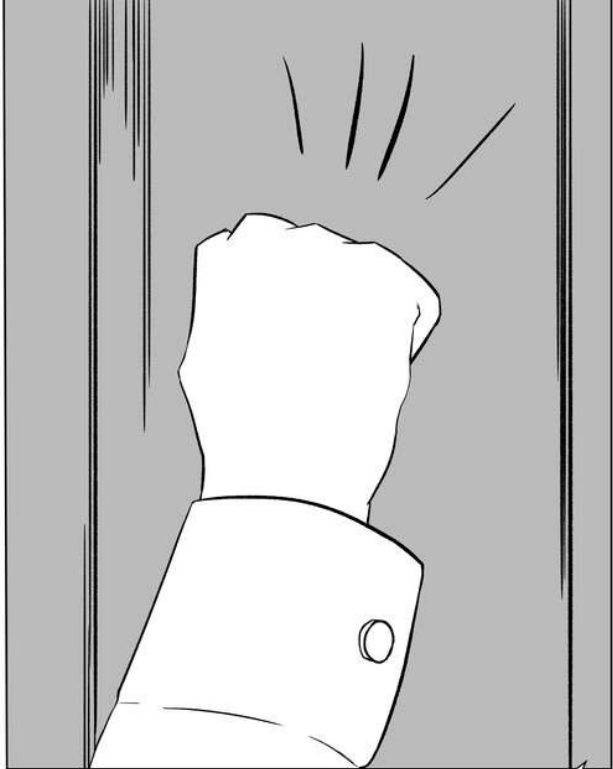


はー！

はー！



マキちゃん、  
お父さんと私は出か  
けるんです！



オーガズムに達で  
きなかった、くそー！



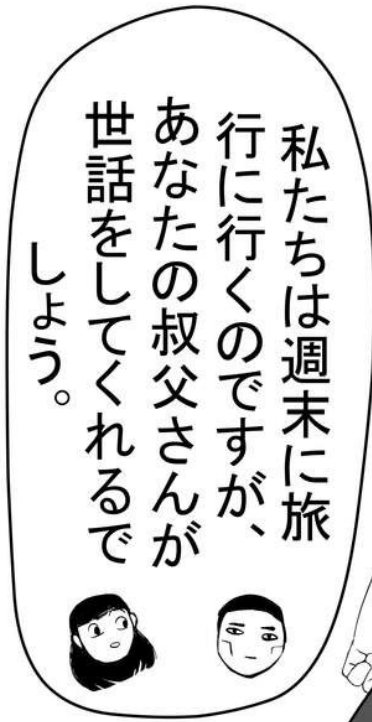
あなたのおじさんがあな  
たの世話をするでしょう、  
挨拶に来てください！



自分の手が小さ  
いのが嫌い



さよなら、  
気を付けてね



私たちは週末に旅行に行くのですが、あなたの叔父さんが世話をしてくれるでしょう。



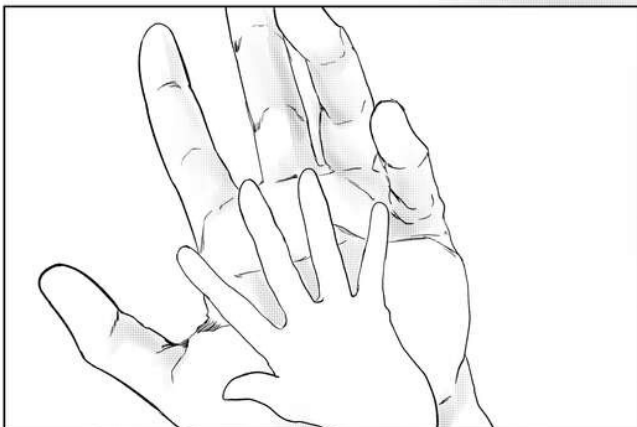
私の叔父



こんにちは、おじさん！  
しばらく会っていません



おじさん、私がこう  
感じるの好きです  
か？



君は手が大きいね

おじさんは私のお尻  
が好きですか？

どういう意味です  
か？

お尻に指を入れるの  
が好きです。

でも私の指はとても  
小さいです。

あなたが私のお尻に指を  
入れてもいいですか？

はい？

ニニニに来て





これをあなたから受け取ります



おお

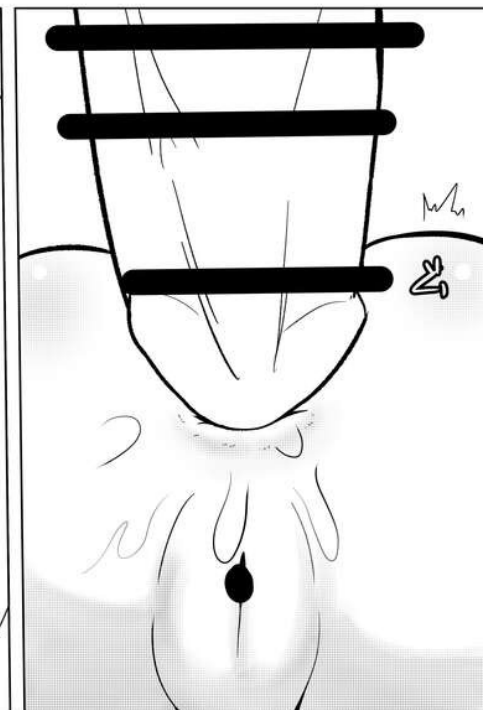


マキちゃん、お尻すごく柔らかいですね。



自分の中にもっと大きなものが欲しいですか？

はい、はい、お願いします！





マキちゃん、あなたの  
の小さなお尻が私の  
チンポにぴったりと  
くっついていきます



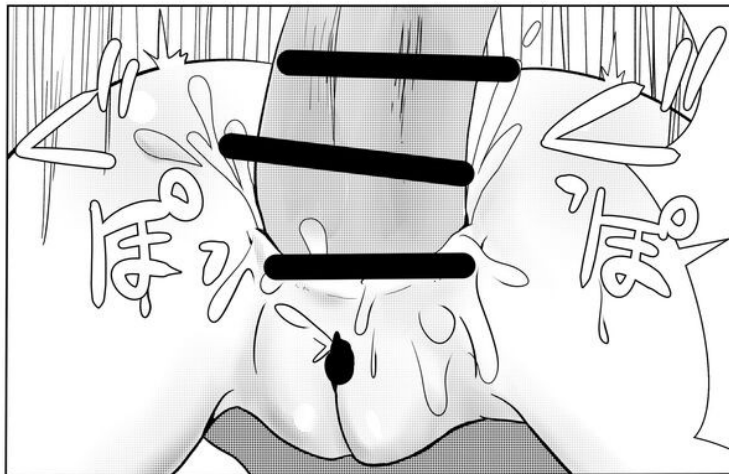
あなたの子供っぽい  
お尻は完璧です

おじさん、チンポ大  
好きだよ



もっと強い

射精するよ、ちよつと待ってよマキちゃん



おお



8歳の女の子のお尻を埋めています

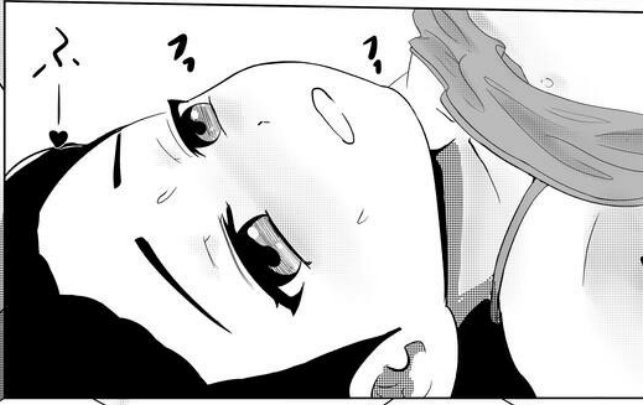


大好きです、お尻がとても気持ちいいです

あなたが私のお腹を満たすような気がします



お尻に私のチンポを入れるのが好きでしたか？



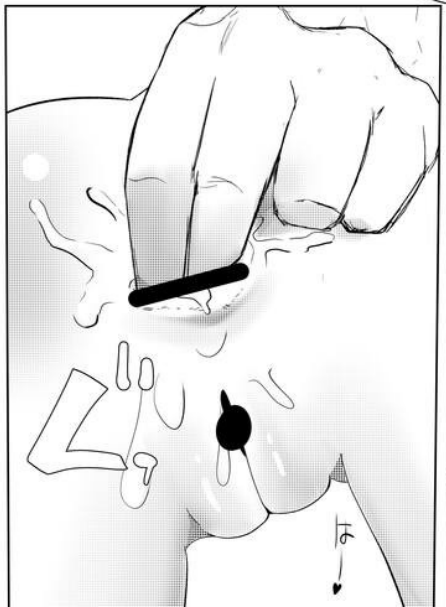
イエスの愛

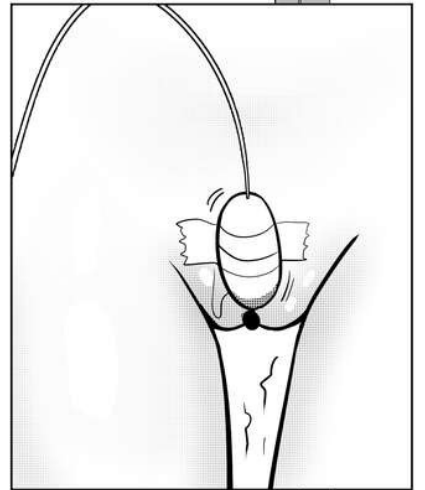
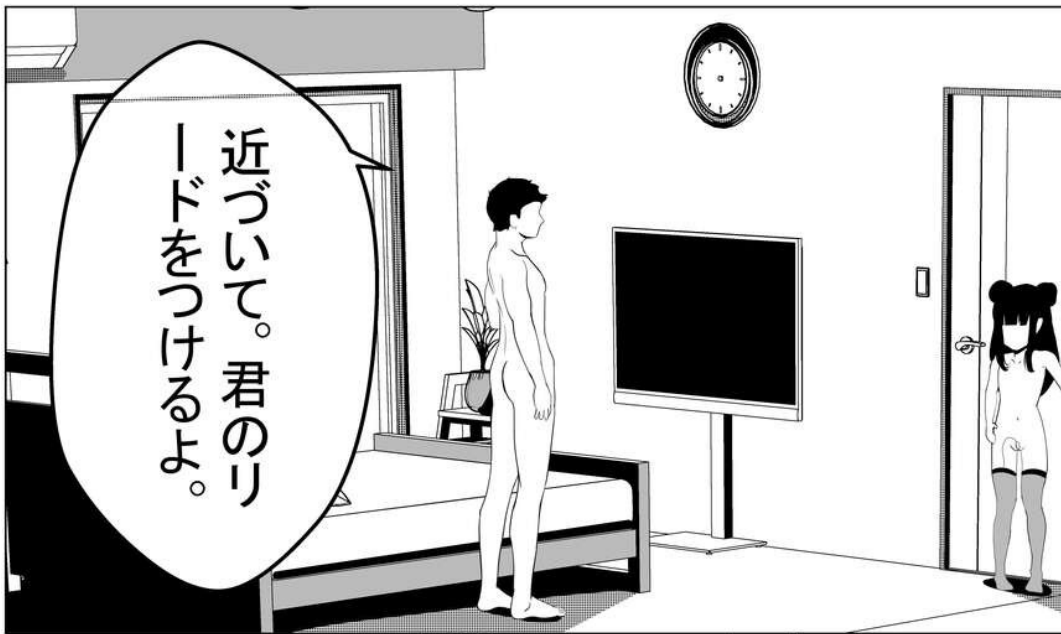
おじさん、あなたのチンポは私の指よりずっといいです

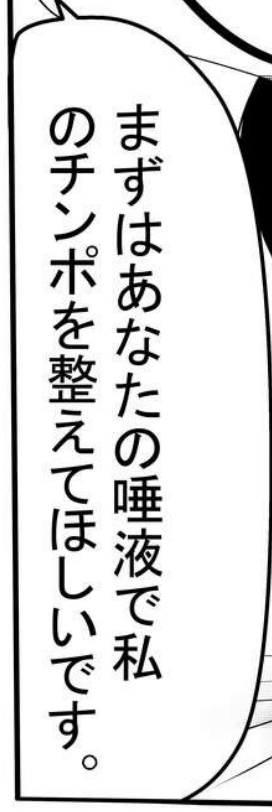
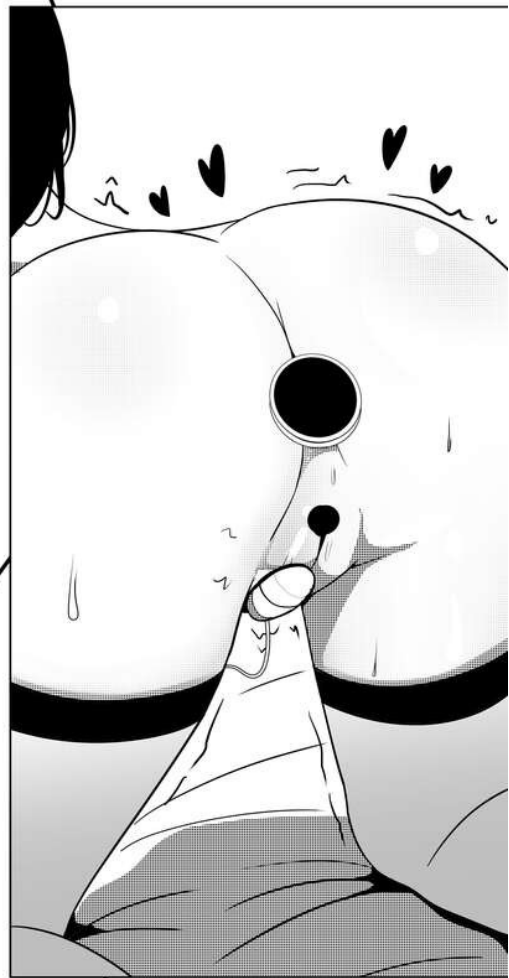
まきちゃん、子供っぽいお尻は完璧です



マキちゃん、考えがあるんだ。

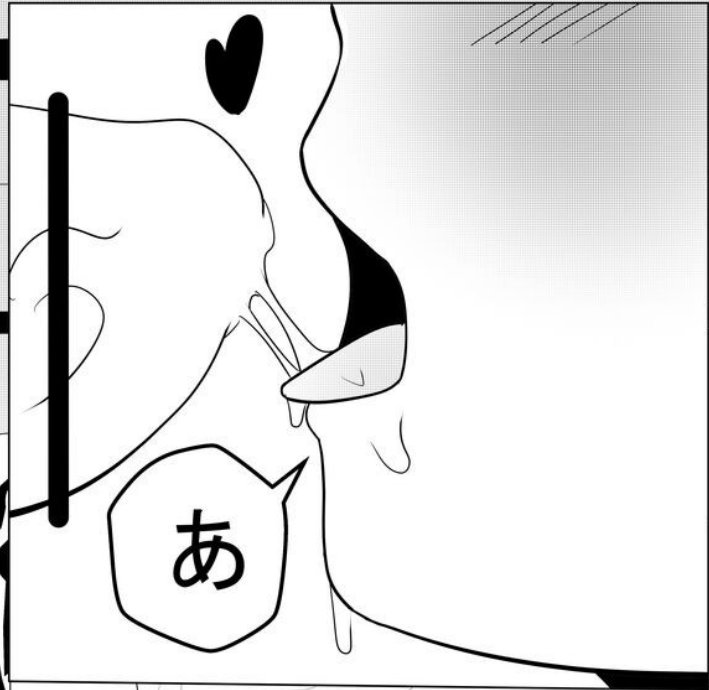








あなたは私があなただの子供  
っぽいお尻に私のチンポを入  
れることを熱望しています



はい



あなたは私の8歳の  
小さな売春婦です





あなたのチンポの  
虜になってしまいます



より強く！  
あなたの大人のチンポで私の  
お腹を殴ってください

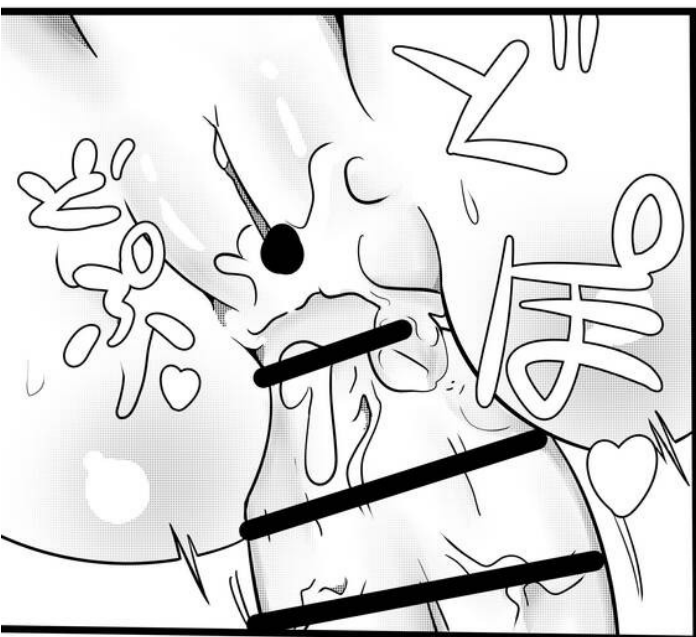
彼が小さな女の子のお尻をレイ  
プしているなんて信じられない。





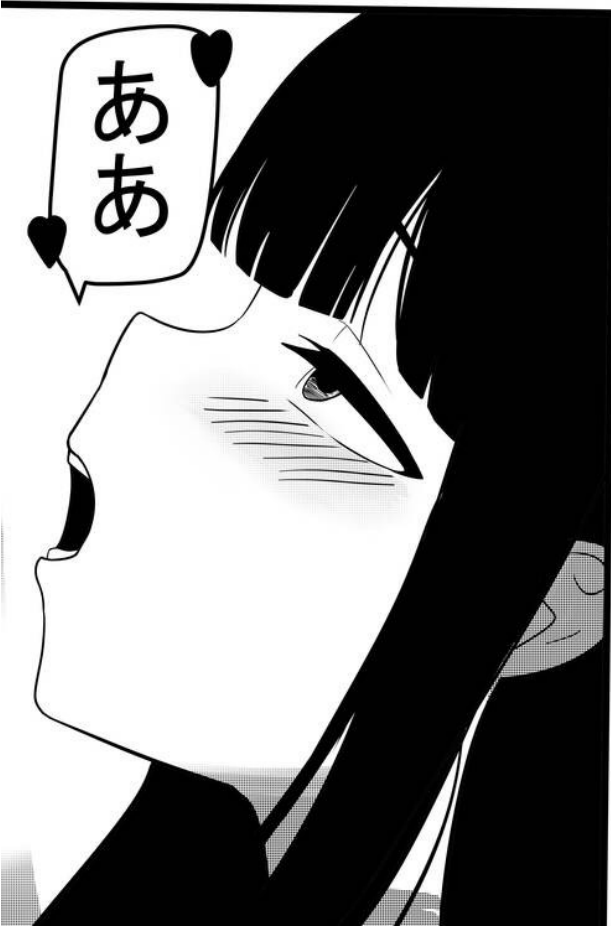
私は愛する

彼が私の尻の中で爆発  
しそうなのがわかる



おお

子供っぽいお尻を犯される  
のが好きなのは明らかだ



ああ

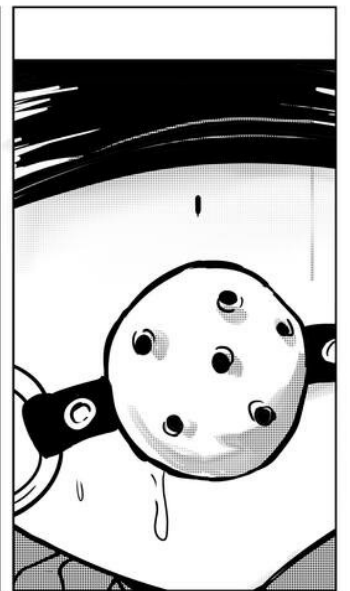
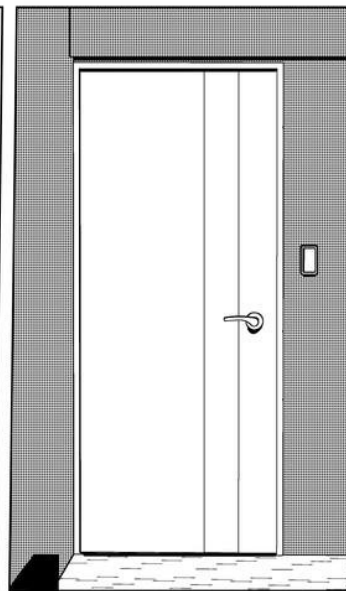


8歳の女の子のお  
尻に中出ししてやる



気が狂ってしまおうよ

もう無理



私があなたとの関係を  
終えたら、あなたは私  
の子供じみた売春婦に  
なるでしょう。

準備はできていると  
思う、一晩中あなた  
の小さな女の子のお  
尻をレイプし続けて  
ください

おお

おお

欲しいです、お尻の中におじさ  
んのチンポが入って欲しいです

おお





私があなただのお尻を折ったとき、あなたの喜びの表情を見せてください



あなたの叫び声が聞きたい



8歳の女の子がお尻をレイプされて喜んで見ると、私は興奮してしまいます。





私にレイプを続けてほしいの  
はわかりますが、その後、あ  
なたの両親が到着します。

ゴぽ、

とろー！

チンポ

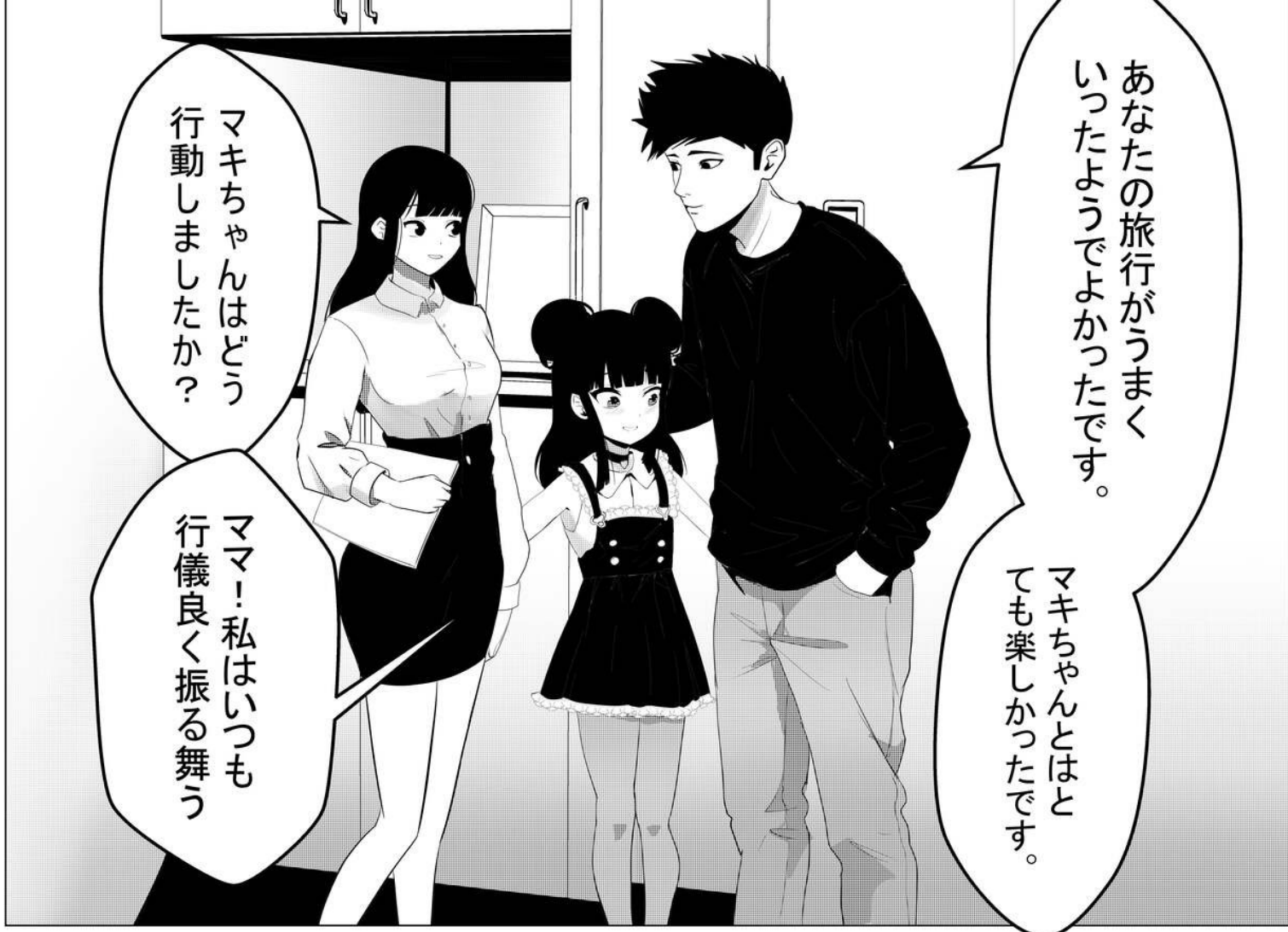
ごご

ん

チンポが欲しいです、おじ  
さんさん、大好きです

はい

小さくなったので、私の  
チンポを掃除しに来てく  
ださい

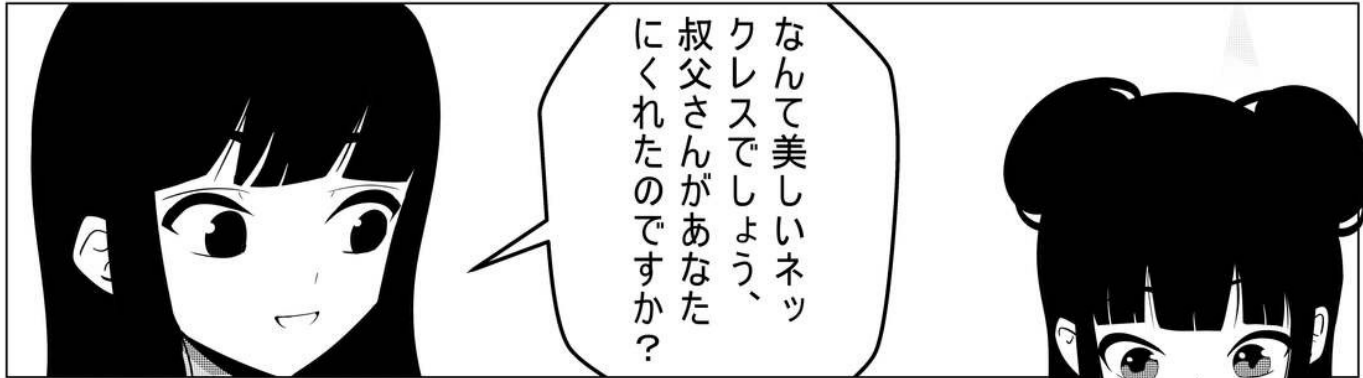


マキちゃんは どう  
行動しましたか？

ママ！私はいつも  
行儀良く振る舞う

あなたの旅行がうまく  
いったようでよかったです。

マキちゃんとはと  
ても楽しかったです。



なんて美しいネッ  
クスレスでしょう、  
叔父さんがあなた  
にくれたのですか？



それは、おじさん  
が私の飼い主だと  
いうことです



はい